

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	駒場運動公園					
(2)施設概要	①所在地 さいたま市浦和区駒場2丁目1-1 ②施設の設置目的 都市住民の主として運動の用に供することを目的とする。 ③施設の概要 面積6.64ha 主な施設 競技場、補助競技場、相撲場					
(3)指定管理者	KOMABAスポーツパークJV					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②指定管理料(直近2か年) 令和6年度84,547千円、令和7年度90,584千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 298,342人(前年度277,335人) ◇業務実施状況 ・施設維持管理業務 ・利用者受付業務 ・公共施設予約システムによる貸出業務 ・業務仕様書及び事業計画書による業務 ②維持管理業務の状況 ・保守管理業務 サッカー場、競技場、夜間照明設備等 ・日常清掃業務 サッカー場、管理棟等 ・定期清掃業務 管理棟、受水槽、園内等 ・植栽管理業務 高木剪定、低木剪定、花壇等 ③その他の業務 【市民協働事業】 ・公園清掃活動(浦和区子ども会育成連合会/駒場運動公園) ・バラ苗(レズローズ)の維持管理(浦和レッドダイヤモンド株式会社/駒場運動公園) 【自主事業】 小学生かけっこ教室(その1)、小学生かけっこ教室(その2)、ナイター小学生かけっこ教室、ナイター陸上、ラジオ体操、バランスの良い体づくりのための簡単ヨガ教室、大人向け体力測定、キッチンカー出店、物品販売、、天然芝ピッチを体験少年少女サッカー教室					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	28,184千円	(24,622千円)	人件費	28,759千円	(27,592千円)
	指定管理料	90,584千円	(84,547千円)	事務費	9,219千円	(4,872千円)
				施設管理費	80,790千円	(76,704千円)
	【自主事業】					
	収入	688千円	(792千円)	支出	638千円	(1,806千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	スポーツ施設のストック適正化ガイドラインを踏まえ施設整備を進める中で、今後の運営方針を思案するにあたり、10月に近隣運動施設に対してアンケート調査を実施することで、より良い利用環境の提供ができるように施設運営の改善を図った。また、用具貸出等のルール基準を見直し、陸上競技場貸出備品であるスターティングブロックの設置位置を現行の100mスタート地点より10m後方へ下げることにより、備品や設備等の長寿命化を図った。					
(8)その他						

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
「サービス向上に向けた取り組み」・市民共同事業について	○昨年度から引き続き、利用料金の支払い手段にキャッシュレスを導入することで、利用者のニーズに対応し、スムーズな料金支払いとなり、サービス向上に努めた。 ○スケジュール会議に参加して各競技団体と調整を図り、市民が平等に利用できるように努めた。 ○近隣自治会、関係団体等と施設運営の充実や課題解決等を目的とした「運営共有会」を開催、また、地域スポーツの振興及び課題の共有等を目的とした「駒場周辺施設情報共有会」を開催した。 ○スポーツドリンク等の物品販売を行い、サービス向上に努めた。 ○ナイター陸上(競技場の夜間利用)の開放日を増やし、冬季(1・2月)も開催することで、利用者の拡大に努めた。 ○ホームページやSNS等を活用し、利用者へリアルタイムで新しい施設情報や利用状況が届くよう情報発信を行い、施設の有効活用に努めた。 ○窓口においては、障がい者の方のコミュニケーション対策として筆談器具のコミュニケーションボードを設置し、誰もが利用しやすい親切・丁寧な施設提供の促進に努めた。 ○自主事業については、どの事業においても地域のスポーツ振興や世代間交流に十分に寄与できた。 ○地域で活動する浦和区子ども育成連合会と連携をとり、地域の環境問題に対する意識向上を図りながら、公園清掃活動を実施した。また、地域情報のコミュニケーションボードを施設内掲示をすることにより、地域団体との情報の共有に努めた。 ○JVで大会時における駐車場相互利用を行った。(浦和総合運動場)
「指定管理業務に係る経費」・経費縮減のための取り組みについて	○経費執行の適正を図るため業務内容の見直しを継続的にを行い、修繕を計画的に実施し、将来にわたっての修繕経費の縮減に努めた。また、職員対応による座席交換20個、市備品フレキハードルバー交換20基による経費等の削減を行った。 ○大規模大会をはじめ各種大会で使用する競技場は、「プロ仕様」の高水準なグラウンドを維持するために専門知識のある職員を配置し、経費の縮減に努めた。 ○キャッシュレス決済利用促進した他、硬貨入金手数料の削減を行った。 ○電子契約の導入し、積極的に活用することで、コスト・印紙税の削減、DX推進を図った。 ○自社の清掃職員や芝草管理技術者等の専門的な業務経験が豊富な人材の配置を行い、ピッチ管理等を実施することで委託経費の削減を行った。 ○JVグループ内で有資格者による建築設備及び防火設備点検業務を実施し、委託経費の削減を行った。
「管理運営体制」・危機管理対策について	○危機管理規程、情報セキュリティ規程及び危機管理マニュアルに基づき、管理体制の検証を定期的の実施した。また、台風接近時等には、危機管理部会を開催し、状況に則した準備対応を行った。 ○雷雨など急な天候異常の際の迅速な避難誘導や熱中症予防対策として積極的な声掛けを行うなど利用者の安全対策を行った。 ○コンピューターウイルスに感染したことを想定した情報セキュリティ緊急時対応訓練を実施し、「状況把握・対処・連絡」の一連の流れの確認と危機管理に対する意識共有を図った。 ○一部の利用者からの過度な要求等、カスタマーハラスメントに対する基本方針を定めJV職員の心身を守るとともに他の利用者や協会の信用を失わないための対策を行った。 ○樹木管理講習会を法人で実施したほか、有資格者による遊具点検指導を実施し、公園点検のスキルアップを図った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・スケジュール会議に参加して各競技団体と調整を図る一方、市民が平等に利用できるよう特に土日祝日に一般開放日を設けるよう図った。また、各種大会や利用キャンセルが出た場合は、SNSや貼り紙で情報提供を行い、多くの方が利用できるよう努めた。
- ・ホームページ及びSNSを活用して施設情報の提供や各種教室・イベント等の開催周知を今年度も継続的にを行い、より多くの市民へ利用の促進を図った。
- ・ご意見箱やホームページより、ご意見・ご要望等を広く受け入れ、その内容を迅速に業務に反映し、市民サービスの向上に努めた。
- ・地域自治会との市民協働での清掃活動、地域学校等の駐車場利用協力、また市内中学生との職場体験による未来くるワーク(7校各3日)の受け入れを実施しながら、地域との連携強化を行った。
- ・市内農家による季節野菜の直売会を実施し、利用者とのコミュニケーションを深めた。
- ・ロケーションサービス事業の受け入れを積極的にを行い、施設のPR及び増収を図った。
- ・スポーツドリンク等の物品販売や利用者からの要望により「ナイター陸上(競技場の夜間利用)」の開放日を増やし、新規利用者の獲得に努めた。
- ・レッズランドと共同でWEリーグ等へのキッチンカー出店を増やすことで、利用者の利便性を高めたサービスの向上に努めた。
- ・園内清掃・植栽管理を徹底し、憩いの公園として利用者が気持ちよく利用できるよう、景観維持と環境整備に努めた。
- ・浦和総合運動場と駒場運動公園における駐車場の相互利用を行い、駐車場数に関するトラブル軽減に努めた。
- ・「運営共有会」及び「駒場周辺施設情報共有会」を開催して、施設運営の充実と課題等の共有や解決に努めた。

【JVによる成果】

- ・通年で質の高いグラウンド・芝生管理を行い、利用者の満足度向上に努めた。
- ・構成団体でのノウハウや特性、ネットワーク等の強みを生かし連携することにより「スポーツ振興・地域コミュニティの拠点」を図った。
- ・JV運営会議を開き、情報共有を図った。更には、所管課とも常に情報の共有を図りながら対応した。

【経費の削減】

- ・環境負荷の軽減及び省エネルギーに配慮した業務を展開し、経費の削減に努めた。
- ・清掃及びグラウンド整備等の両業務を自社で実施することにより、経費の削減に努めた。また、職員による施設点検を随時行い不具合箇所の早期発見に努め、小破箇所修繕を職員で行うことで、経費の削減を図った。
- ・水道メーターの日々検針・検証を行い、漏水等の早期発見に努めた。また、SDGsの取り組みの一環として節電や自社修繕・廃材のリサイクル、消耗品その他資機材購入の際は徹底した価格調査を行い積極的な経費の削減に努めた。
- ・契約方法を従来の書面による契約から電子契約の導入により、コストや印紙税の削減を行い、電子決裁等、DX推進も図られた。

【JVによる効果】

- ・自社の清掃職員等、専門的な業務経験が豊富な人材を配置しており、特に芝草管理技術者の資格を有した人材を配置しピッチ管理にあたっている。
- ・グループ内で有資格者による建築設備及び防火設備点検業務を実施し、経費の削減をした。
- ・自主事業における事業の中で、関係団体と連携して指導者諸謝金等、経費削減を図った。

【適正な管理運営の確保】

- ・法人内部の業務確認検査を実施することで、金銭・個人情報の取扱い等コンプライアンスを確立している。
 - ・公園施設の特徴を活かし、各種関係法令及び管理基準に則し、適正に点検等を実施し施設の安全確保に努めた。また、樹木・植栽管理では、枯枝落下防止、倒木リスクの回避、美観の確保など安全性、機能性の維持向上を図った。
 - ・天然芝サッカー場では、「天然芝サッカー場の利用に係る手引き」を遵守のうえ、適正な管理運営に努めた。
 - ・利用団体、近隣自治会等による運営協議会を開催し(2回)、施設運営の充実(管理上の透明化)や問題解決(メイン競技場のナイター利用など)を行った。
 - ・周辺施設との連携、意見交換及び課題の共有等により、地域スポーツの振興を目的として共有会会議を実施し、運営状況や課題等について近隣施設との連携強化を図った。
- スポーツ施設のストック適正化ガイドラインを踏まえ施設整備を進める中で、今後の運営方針を思案するにあたり、近隣運動施設に対してアンケート調査を実施した。

【JVによる効果】

- ・大会時において浦和総合運動場と相互利用により、駐車場の混雑回避を図った。
- ・自主事業については、JVグループの強みを活かして、関係団体と連携して事業を実施した。(指導者、大会との連携等)

【その他】

- ・消防訓練等の法定訓練を漏洩なく実施。火災や地震発生時に迅速に対応し、利用者の安全を確保できる体制の強化に努めた。
- ・中堅教員等資質向上研修「企業等体験研修」を受入れ、施設の管理業務を体験する場を提供した。
- ・さいたま市教育委員会が実施する中学生の社会体験学習「未来くるワーク」に協力し、勤労観・職業観を育み学ぶことの意義を考える機会を提供した。(市内7校を受入れ)
- ・公園の遊具をはじめ、施設の設備・備品等について、維持管理上、深刻な設備不良に発展することがないよう、保守点検をはじめ、日々の職員による巡回点検を適正に実施し、不具合については早期の発見・対応を行い、利用者の安全確保に努めた。
- ・日常の樹木点検で枯枝除去や樹木の空洞化による倒木リスクを早期検知し、早急に対応することにより、利用者が安全に施設を利用できる環境の確保に努めた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価(B)※A~D

1 項目別評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・土日祝日に一般開放日を設けることや夜間利用者を対象としたナイター陸上の実施、朝のラジオ体操など幅広い世代の利用の促進を図った。
- ・近隣の運動施設にアンケート実施することにより、用具の貸出等のルール基準の見直しを行い市民サービスの向上を図った。

【経費の削減】

- ・観客席の座席交換や市の備品の簡易修繕を職員で実施することで経費の削減に努めた。
- ・電子契約を導入し積極的に活用することで、コスト・印紙税の削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

- ・広い敷地であるにもかかわらず、協定書や管理基準表に基づき清掃や点検を適切に行い、良好な維持管理に努めた。

2 総合評価

- ・当施設での指定管理者経験を生かした適正な施設管理が行われた。
- ・大会での利用だけでなく、一般利用の機会を確保や競技場の夜間開放を行い、多くの市民が施設を利用できる機会を作り、市民サービスの向上を図った。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認